

公表

児童発達支援・放課後事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Blooming Terrace みどり		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 2月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質向上を図るために研修を受講する機会を提供している。	自立支援協議会への出席や自治体主催の研修に参加するなど、資質の向上に努めている。	職員全員の資質向上を目的として、各種研修・会議等への参加を輪番制にして、対応を行っていく。
2	本人やご家族に寄り添った支援を提供している。	事業所での支援だけではなく、絵カードを保護者に提供するなどして、家庭での支援に活用していただくことで、より質の高い支援に繋げるようにしている。 また、保護者に対して、食事や家で過ごすスペースの提案を行っている。	事業所主催の保護者交流会に職員も参画し 困り事、悩み事などに寄り添って相談できる機会を提供していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペースが狭い。	現状で出来る工夫(移動可能な仕切りなどを使う)を行い、有効活用する。	更なる工夫をすることで、限られたスペースを有効活用できるよう努めていく。
2	家族同士との交流場の提供、HP等の有効的な活用ができていない。	保護者会は開催したが、きょうだい児同士の交流の場は提供はできていない。 また、情報発信についてはHP、HUG(連絡アプリ)などを活用し、行われているものの、活発な双方向でのコミュニケーションが行われている状態とは言えない。	保護者同士の交流をさらに深めてもらうと同時に、きょうだい児の交流ができる機会を提供する。 HPやHUG(連絡アプリ)を使って、月間行事予定の発信を行い、事業所、保護者間での双方向コミュニケーションをより活発にしていく。
3			